

植樹地下草刈り

柴田 徹造

実施日 2021年11月21日（日）日帰り 天気：快晴

参加者：瀬下理事長、橋本理事、武笠顧問、埜歩歩富士見山の会 3名、柴田計 7名

交通：各自自家用車

場所：県連植樹地（高篠峠）

<意外と近い高篠峠>

堂平山や定峰峠の分岐点でおなじみの白石峠から車で3分のところに高篠峠の駐車場があり、ココまで車で集合しました。Google Mapsで検索すればちゃんと出てきて案内してくれます。ふじみ野からは1時間くらいかしら。



<まだ？もう？4年>

植樹地入り口には「埼玉県勤労者山岳連盟50周年記念植樹」の立派な看板が掲げられています。日付が2017年11月12日。私はもっと前かと思っていたのですが4年前に植樹したんですね。

<下草狩り>

この行事のネーミング、何とかしたほうがいい…と思う。

まあ、確かに植樹した木の周りにススキ、カヤが生い茂り、下草を刈るのは必要なんだろうけど、なんか大変そう、とかメンドクサイというイメージがねえ。

そもそも「自分たちの樹」みたいな親近感がないとなかなか足が向かないんじゃないかな。

ここいら辺は今後の課題ということですね。

<20年もすれば大丈夫ですよ…>

柴田は植樹した木の周りに生えている雑木を切っていました。陽が当たりますようにと。それを見ていた橋本さん（熊谷トレッキング同人…来月の講師）が「植樹したのは高木です。そんな灌木は20年もすれば枯れてなくなってしまうから大丈夫ですよ」と。

植えたのはモミジ、サクラなど比較的樹高が高い木なんだそうです。20～30年で立派な樹に成長するんだとのこと。私には見られないだろうけれど(^^ゞ



樹間に見える林道から植樹地へ登る



ミツマタが立派に育っていた

<1時間半で終了解散>

ダイソーで購入した「ノコギリ鎌」は大変切れ味良く、サクサク作業が進みました。橋本さんから「もうこのぐらいで十分でしょう」と声がかかり終了することに。「本当ならここで鍋パーティでもやれば楽しいんだろうけれど」と残念そう。でもサッパリした植樹地を見て何となくスッキリした気持ちで山を降りました。

草刈は日頃のストレス発散にもなりそうですし、来年は多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。



左はだいぶスッキリした植樹地の周辺です。草刈り前の写真を撮っておけば良かったですね。



←みんなで

後日、瀬下理事長からメールをいただきました。秩父アルペンクラブの皆様が別途、下草刈りをしてくださったそうです。



『秩父アルペンクラブの皆さんは、11月21日の下草刈りに参加できなかったため、わざわざ11月28日に4名で下草刈りを実施してくださいました。若干やり残しがあったので大変助かりました。ありがとうございました。』瀬下